

# 韓 国 語

## 第 1 高等学校教科担当教員の意見・評価

### 1 前 文

5回目となる平成18年度大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）「韓国語」の受験者数は、189名であった。第1回目は99名で、これまで回を重ねる度に受験者数は増加し、昨年213名だったが今年は24名（11%）の減少となった。また、平均点は155.29点（77.64点）で昨年度158.13点（79.06点）よりは若干低くなっている。設問形式が若干変わったこと、難易度が若干上がったことに因るものと思われる。ただ、145点以上の得点者が受験者の8割を占めているところをみると、今年度も受験者の大多数が韓国語母語話者若しくはそれに近い状況の受験者であったと推測できる。

本年度の試験問題を評価するにあたって、本委員会は以下の視点・観点で評価を行った。

- (1) 各問題が受験者の授業学習範囲内で出題されているかどうか。この目安としてハングル能力検定3級～準2級程度を適切な語い・文法の難易度とし、各問題をハングル能力検定のどの級に該当するかを（ ）書きで明記した。
- (2) 語い力を問う知識問題だけでなく、思考力、文章読解力など総合的な学力を問う問題が多く出題されているかどうか。
- (3) 高等学校で行われている教育内容を反映し、学習者の年代に相応しい場面設定で相応しい表現が使われているかどうか。

### 2 試験問題の内容・範囲等

#### 第1問

##### A 表記と発音に関する問題

各音節の終声と後に続く初声との結合で音がどう変化するか、その知識を問う問題。昨年度の設問と変わり、今年度は見出し語の発音と同じ発音現象を起こすものが4つの選択肢の中にいくつか含まれているかを選ぶ形式となった。これは、学習者が本当に正答しているか確認できず、設問形式に問題があるように思われる。

見出し語 ㄴパッチムと母音に挟まれる有声音化。ただ、「病」を用いた病名の漢字語は例外的に「病」にあたる発音が濃音化する（眼病：(안병/눈병)→〔안뽕/눈뽕〕、肺病(폐병)→〔뽕뽕〕など）。しかし、病名以外の漢字語は、見出し語と同様に、通常通り有声音化を起こす。例外的な濃音化を起こす漢字語として「病」の説明は、学習書にほとんど載っておらず、発音問題としては難しい。学習者にとって難しい語いであり、適切な問題ではない。

語い：문병 (2級以上)

##### B 昨年度と変わり、平成14年度の問題形式に戻った。

問1 a 合成語の単語間におけるパッチムの有声音化。通常、終声は母音の前では初声として発音される(例(무릎이)→〔무르피〕)。しかし、パッチムで終わる語に母音で始まる



問2 語い力を問う問題で「めがねをかける」の「かける」に相当する単語を選ぶ。끼다よりは쓰다の方が学習者にとっては適しているように思われる。語い：끼다 (準2級)

問3 語い力を問う問題。受験者は「置いておく」을 놓아 두다か두아 놓다で迷ったためか、正答率は低い。놓아 두다の表現を問う良問である。語い：놓아 두다 (準2級)

問4 「～したり～したり」という動作の反復を表す語尾を選ばせる問題。良問。表現：～다(가) (準2級)

問5 語い力、文法問題。～ㄴ/은 김에「～したついでに」を選ぶ問題。良問。表現：～ㄴ/은 김에 (準2級)

問6 語い力問題。공교롭다 (都合が悪い) がわかれば解答可能な問題。良問。語い：공교롭다 (準2級)

#### D 語い力、文法力、文章読解力を判断する問題

昨年度出題された単語の意味を考えさせる問題がなくなり、下線部の語いを問う問題で数が増えている。

問1 싸 (包んで) のこの文章中での具体的な意味を問う良問である。語い：싸다 (準2級)

問2 「急いで」급히, 서둘러を問う良問である。受験者の中には서두르다の副詞形と誤って、서두르게を選んだ受験者もいると思われる。語い：급하다 / 서두르다 (準2級)

問3 「～するなと言った」を間接話法で表す。禁止表現～지 말다 と命令文の引用を表す～라고 했다。命令の引用が～지 말다だけで、略体形は使えないことを知っておくのは学習者には難しい。不適切な問題である。表現：～지 말다 (3級) / ～라고 하다 (準2級)

問4 보내다/ 부치다 (送る)。基本的な語い力を問う点で良問。ただ、正答率が予想外に低いのは、受験者の多くが高等学校から韓国語を学んだ学習者ではなく、生活言語として韓国語を身につけ、音で覚えている受験者が、붙이고と間違っただけと推測される。語い：부내다 (4級) / 부치다 (3級)

問5 ～에 지나지 않다/ 불과하다 (～にすぎない) を問う良問。語い：지나다 (3級) / ～에 불과하다 (準2級)

#### E 日本語から韓国語への翻訳。語い、文法力、表現力を問う。

問1 ～한테に「人のところに」という場所の意味もあることを問う問題。難しいが良問である。語い：한테 (準2級)

問2 「～しなくもないが」と있기는 하지만 (～ありはするけど) という日本語と韓国語の発想の違いを問う点で良問である。表現：～지만 (4級) / ～기는 (3級)

問3 「～と」を表す助詞、(과/와) と (하고) の使い分けを問う基本的な問題で良問。助詞：～하고/ 과 / 와 (5級)

問4 ～ㄴ 데니까 (～するつもりだから) を知っていれば解答可能な問題。良問。表現：～ㄴ 데니까 (準2級)

問5 「お金をおろす」(돈을 찾다) という基本的で韓国語独特な表現を知っていれば解答可能な問題。良問。ただ、意外と正答率が低いのは、끌어내다(引き出す)と勘違いしたためかと思われる。語い：돈을 찾다 (3級)

第3問 対話文を読み、空欄に入れる適切な表現を選び対話文を完成させる問題

語い、文法、読解など総合的な力を試す問題。

A 短い対話文。問題後半の対話文が昨年度より長くなっている。

問1 [감사합니다] (ありがとう) に対して使う表現を選ぶ。ただ、[별말씀을요.] (とんでもないです) は大半の学習者が使う語いではないと思われるので、学習者にあった基本的な会話表現を使っていたきたい。表現的に不適切。語い：별말씀 (2級)

問2 Bが質問を聞き返していることから、Aが同じ質問を繰り返し聞いていることを伝える文が入ることがわかる。良問。表現：냐고 (準2級)

問3 [여행 갔다왔어요.] (旅行に行ってきた)、[삼십만 원 정도요.] (30万程度です) と言っていることから、「旅行にいくらかかったか」と聞いていることがわかる。「費用がかかる」は들다、「時間がかかる」が걸리다という使い分けを問う点で良問。語い：들다 (準2級)

問4 Aが[오늘도 테히 안 왔어?] (今日もテヒ来なかったのか) と聞き、Bが[계속 핸드폰을 안 받아요.] (ずっと携帯電話をとらないの。) と言っていることから、[연락을 좀 해 보지 그래.] (連絡をちょっとしてみたら。) という文を選択させる問題。ただ、この短い対話では、対話の状況設定がわかりにくく、話の流れがつかみづらい。また、~지 그래の表現は学習者には難しいと思われるので、もう少し簡単な表現にしていいただきたい。内容的に不適切な問題。語い・表現：연락 (3級) / ~지 그래 (2級)

問5 성호가 은진에 [점심 시간 어디 있어니?] (昼食時間にどこにいたの。) と聞き、後文に [시험 공부하다가 모르는 게 있어서] (試験勉強していて、わからないところがあって) という話の内容から、성호가 은진을探していたことがわかる。良問ではあるが、~지 뭐야は学習者には難しい表現なので、先ほどの問題同様、学習者のレベルに合わせて、単純な表現にしていいただきたい。表現：줄 (準2級) / ~지 뭐야 (2級)

問6 前文 [좋은 사람이 있으면 소개시켜 주세요.] (いい人がいたら紹介してください。) と後文 [그게 언제 적 이야긴데요.] (それはいつの話なの) をつなぐ会話として [너 남자 친구 있다고 하지 않았어?] (君、彼氏いるって言ってなかったっけ。) を選ばせる問題。内容が学習者の年代に適してないように感じられる。内容的に不適切。

前後の文意：3級程度

B 新しい帽子を買った에미코とその友人지혜が帽子について話をしている少し長めの対話文。

問1 後文に「ありがとう」とあることから、新しい帽子を買った에미코が喜ぶことを言っていることがわかる。話の流れをつかんで答えさせる良問である。

語い：어울리다 (準2級)

問2 後文に「私も皮膚が弱いから、今度の夏には帽子を使ってみようかな。」とあるので、帽子を勧めていることがわかる。話の流れをつかんで正答を見つけさせるという点で良問である。文章全体：準2級程度

C 長い対話文。昨年度9行から今年度は15行と文章量は増えている。韓国映画を見に行こうと日本人留学生を誘っている韓国人が、その映画について説明している対話文。

問1 後文に「じゃ、韓国映画なのか。」と聞いていることから、前文には韓国映画と思わせる

内容の文章が入ることが推測できる。良問。

文章全体：準2級程度

問2 前文に「背景が韓国だから」後文に、「もちろん。韓国の俳優だけでなく、日本の俳優もほとんど韓国語で話すんだって。」とあることから、空欄には韓国俳優が出るという内容の文章が入ることが推測される。良問。

文章全体：3級程度

問3 前文に「また、自分にとって勉強にもなるし・・・」と話していることから、正答が導き出せる。良問。

文章全体：準2級程度

#### 第4問 長文読解問題

けんかの絶えることがない一組の若い夫婦と、笑顔の絶えることがない大家族を対比し家族のあり方について述べているエッセイ。家族の問題は受験者にとっても身近な問題であり、かつ心温まる内容にもなっている。しかし本文の文章量は昨年度17行から26行に、語い数（語尾・助詞を除く）は192語（→昨年度：119語）と、61.3%増加している。本文・設問文（正答・誤答の全て）の語いレベルは下記の表のようになっている。（\*ハングル能力検定語いリスト参照）

レベル	5級程度	4級程度	3級程度	準2級程度	2級以上
語い数	39個	31個	37個	30個	5個
割合(%)	27.5%	21.8%	26.1%	21.1%	4%

量的には昨年度に比べてかなり増加しているが、全体的には3級・準2級程度の語いを使用して読みやすい内容になっている。

問1 이해하기 어려운 수수께끼 という下線部の具体的な内容について、第1段落で筆者が投げかける問題提議を把握できているかを問う問題。良問。

語い：싸움（準2級程度）、수수께끼（2級以上）

問2 大家族の主人が若い夫婦の質問に答える発言から、逆説的な表現の内容を理解できているかを問う問題。最終段落の内容まで理解しないと答えがわからない良問であるが、ただ不正解の解答文의 고운 / 미운 분 は、やや不自然で違う文のほうが良かったのではないだろうか。

語い：밉다 / 굵다（準2級程度）、옳다 / 의외 / 치우다（2級以上）

問3 그렇게 되면 という下線部の具体的な意味について、最終段落の内容が把握できているかを問う問題。文中の語いは難易度が高いが、設問の語いは3級・4級程度のものが多く比較的易しい。良問。

語い：일단（準2級程度）

問4 全文の大意を理解しているかを確かめる問題。選択肢の①④⑤は明らかに間違いだと消去できるので、やや工夫が必要か。また選択肢が日本語で示されているが、上記の問1～3が韓国語で示され、しかも問4は、問1～3より高配点であることを考えると、問4も韓国語で示してよいと思われる。不適切な問題。

本文の文章全体：準2級程度

#### 第5問 長文読解問題

「勉強」と「学問」の違いについて、一般的に受けとめられている考え方を引き合いに出しながら、その本質的な差異を論理的に展開している評論文。ものごとを「信じること」を前提とする「勉強・学習」と、ものごとを「疑うこと」を前提とする「学問」について、ニュートンの万有引力の発見の例などを挙げながら丁寧に展開している。「学問とは何か」という基本的な問題意識を受験者に投げかけることにもなり、内容的に良い題材と言える。

本文の文章量は昨年度 38 行から 37 行に、語い数（語尾・助詞を除く）は 245 語（→昨年度：275 語）で、10.9%減少した。しかし本文・設問文の語い（正答・誤答の全て）レベルは下記の表の通りで、量的には減少したが、語い的には準 2 級から 2 級以上の割合が高く、難易度は高いと言える。

レベル	5 級程度	4 級程度	3 級程度	準 2 級程度	2 級以上
語い数	29 個	29 個	41 個	60 個	22 個
割合 (%)	17.0%	17.0%	22.7%	33.1%	12.2%

問 1 「学問というものが既習のことを『疑う・問い直す』姿勢から始まるのに対し、勉強・学習はその内容を正しいと『信じる・前提にする』ことでその行為が成り立っている」という本文全体の趣旨を理解することが重要。設問箇所の部分読みだけでは解答例④「생각함」を選択してしまうかもしれない。正答率が低いのはそのせいかな。読解力が必要。良問であるが難問である。  
語い：의심하다 / 토대 / 이루어지다（準 2 級程度）

問 2 前問と同じく「勉強」と「学問」の違いについて理解できていれば、答えられる。ただ選択肢の③ ~와 더불어 の語いレベルが高く、また日常的に使用頻度が低い。やや不適切。  
表現：~와 더불어（2 級以上）

問 3 이러한 지적 활동 という下線部内容を正確に理解できているかどうかを問う問題。直前の疑問を 가진 것에서부터 역사상의 대발견이 이루어졌다 から正解を導き出すことができるが、選択肢の語い 구애하다 / 노리다 は 2 級以上のレベルで、特に正解の文に 구애하다 が使用されているのはやや不適切に思われる。  
語い：구애하다 / 노리다（2 級以上）

問 4 前後の文章 학문은 잘 알려진 일반적인 물음에 대해 새로운 해답을 요구한다. 종래에는 묻지 않았던 것을 문제시한다. と 상식이나 정설은 아예 무시하는 것은 아니다. の関係が理解できれば正解できる。良問。  
語い：종래 / 아예（2 級以上）

問 5 全文の大意を理解しているかを確かめる問題。選択肢の内容も適切で語いレベルもほぼ準 2 級程度におさまリ、良問である。  
本文の文章全体：2 級レベル

### 3 試験問題の程度、設問数、形式等

今年度の試験問題の難易度を示すめやすとして、使用語いのレベルをハングル能力検定の語いリストを基準にして数を調べてみた。（ここでは問題文及び正答の解答文のみを扱う）

ハングル能力検定	4 級程度	3 級程度	準 2 級程度	2 級以上
平成 18 年度	55	80	113	23

### 4 作成部会への要望

(1) 問題の作成において、基本的なレベルの問題や対話文の量を増やし、また一方で不正解の選択肢を工夫することで深い読解力を求める問題を作成してほしい。

受験者が韓国語母語話者もしくはそれに近い状況の受験者が多いと思われる中で、「基本的で易しい問題」の量を増やせば平均点が高くなってしまふという危惧も理解できるが、このままではセンター試験の「韓国語」が、日本の高等学校における韓国語教育の現況からますます遠ざかって行くように思われる。高等学校に入ってから学び始めた学習者にも、センター試験の問題の一

部を授業で紹介し取り組めるような問題の作成を切にお願いしたい。

一方、明らかに韓国語母語話者もしくはそれに近い状況の受験者も、問題全体をよく読みこみ、筆者の意図するところを十分汲み取らなければならない読解問題の量を今以上に増やすことで、平均点のバランスを調整していただきたい。また韓国語母語話者もしくはそれに近い状況の受験者が日常的に耳にしているからこそ、スペル等がおろそかになりがちな語いや発音問題等を多く出題することで、初級学習者とのバランスを保っていただきたい。

- (2) 日常生活に密着した場面の問題で、場面設定が学習者の年代にやや合っていないものがいくつか見うけられたので改善していただきたい。たとえば、以下のものである。

第1問の2、発音問題だが「ひざの上に赤ちゃんを座らせておいてよだれかけを替えてあげた」

第2問の23、「結婚したい気持ちがなくもないが、なぜかふんざりがつかない」

第3問の27、「とんでもございません」

第3問の32、「いい人がいたら紹介してくださいね」「きみ、彼氏がいるって言ってなかった？」

どうしてこういう問題が出るのだろうと受験者がふと疑問に思うかもしれないものは、やはり不適切と言える。また「生きた韓国語」にこだわらず、多少ぎこちなくても基本的な会話表現の出題をお願いしたい。

## 5 大学入試センターへの要望

- (1) 今回の試験においても、明らかに韓国語母語話者もしくはそれに準ずる状況の受験者が多数いたことが判明した。例えば、以下の問題では、初級学習者にとっては比較的易しい問題であったにもかかわらず、正答率が低かった。

第2問の20において、「郵便物を送る」の「送る」부치다 は学習者にとっては基本的な語いであるにもかかわらず正答率が低いのは、やはり受験者の多くが韓国語母語話者もしくはそれに近い状況であることを裏付けていると思われる。日常的に [ puchida ] という音を耳にしているからこそ、正解の③では、あまりにも簡単すぎると思ったのか、口蓋音化をすると同じ発音になる④を選んで、正答率が下がったのではないかと推測される。

また、第2問の26では、「銀行でお金をおろす」の「おろす」찾다 も基本的な語いであるにもかかわらず、韓国語を母語話者とほぼ同じく日常的に使用している受験者にとっては日本語環境で使用される言語活動表現だったので正答率が下がったのではないかと推測される。

以上のような受験者層の傾向は来年度以降も大きく変わらないだろうし、それにともない「韓国語」の平均点も高得点が続くだろうと思われる。しかしセンター試験の「韓国語」の平均点が高いのは決して問題が易しいからではなく、むしろかなり難易度の高い内容になってしまっていると言える。このことを前提にしつつ、日本の高等学校における韓国語教育の現況（ほとんどの高等学校では初級レベルの学習段階）に近づき、その充実・発展を模索する方向で鋭意努力していただきたい。

- (2) 問題作成部会の(1)で要望したことを実現するために、作成部会の方々を実際の高等学校の教育現場に派遣し、実情を十分に把握・理解していただくことで、センター試験問題の改善に反映されるようにしていただきたい。